

新秩父市誕生20周年を迎えて

平成17年4月1日、旧秩父市・旧吉田町・旧大滝村・旧荒川村が合併し、新たな「秩父市」が誕生しました。今年は、新市が誕生して20年の節目の年です。

左の写真は、満開の桜と秩父市役所旧本庁舎が表紙の、合併後の市報ちちぶ第1号の表紙です。

1市1町2村が合併しスタートした秩父市は、新市の将来像として「まち輝き むら際立ち 森と水のちからほとばしる 助けあい 温もりのまち ちちぶ」を掲げ、まちづくりを進めました。

当時の新市まちづくり計画の基本理念「いつまでも安心して住み

続けられる助けあい温もりのまち」「伝統文化の息づくまち」「森と水のちからほとばしるまち」の理念は、現在の「秩父市まちづくり基本条例」にも受け継がれています。

この特集では、この20年の秩父市の歩みを振り返ります。



市章

大正15年（1926年）に制定され、平成17年の4市町村合併後も、秩父市の市章として採用されました。

秩父市の「父」の字を図案化したもので、協和の精神を表現しています。



秩父市の木
カエデ



秩父市の花
シバザクラ



秩父市の鳥
オオルリ



【コラム】旧町村の町章・村章

吉田町章 カタカナの「ヨ」を4つ「田」の周りに配して「吉田」を抽象的に図案化したものです。



大滝村章 大滝村の「大タキ」の字を図案化したものです。



荒川村章 荒川村の「荒」の字を図案化したものです。



深い敬意を表します。

20年前の合併は、単に行政区域を一つにするものではなく、地域の力を結集し、次の時代にふさわしいまちづくりを進めるという強い決意の表れであったと考えます。それぞれの地域がもつ伝統や文化、自然、そして人の温かさを尊重しながら、互いに支え合うまちとして発展を目指してきたことこそ、秩父市の大きな誇りです。

新秩父市誕生 20周年に寄せて

秩父市長 清野 和彦



秩父に新風。

この20年間で、少子高齢化や人口減少、災害の激甚化など、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しました。その中にあっても、私たちは「秩父の良さ」を守りながら、新しい挑戦を重ねてきました。森林資源の活用や再生可能エネルギーの推進、観光と暮らしが調和する地域経済の創出、そして何よりも「ここで暮らして良かった」と思える地域社会の実現に向けて、着実に歩みを進めています。

次の10年、20年に向けて、私たちが大切にしたいのは「つながり」と「挑戦」です。自然と人、人と人、地域と世界。そのつながりを育みながら、秩父の未来を切り拓く挑戦を続けていきたいと思えます。これからのまちづくりは、市民の皆さん、一人ひとりが主役です。皆さんと共に、「次の世代に誇れる秩父」を創ってまいります。

20周年という節目は、過去を振り返るとともに、新たな時代の幕開けでもあります。この美しい郷土を愛し、支え、未来へとつなげてくださったすべての方々に、心からの敬意と感謝を申し上げます。わがまちの秩父を力強く歩み続けます。



秩父市20年の歩み

平成17年4月1日に誕生した秩父市の20年間の歩みを紹介します。

平成17年
(2005年)

4月

新「秩父市」誕生

秩父市長職務執行者に猪野正一氏(旧吉田町長)が就任

5月

初代秩父市長に栗原稔氏が就任

5月

まちづくり基本条例制定

10月

合併秩父市誕生記念式典の開催

合併記念碑の除幕式などが行われました。

10月

お出かけ楽々バス運行開始

3月

秩父ミュージズパーク「旅立ちの丘」完成

全国の卒業式で歌われる合唱曲「旅立ちの日に」(作詞…小嶋登氏・作曲…高橋浩美氏)が秩父市発祥であることを記念して、市街地を一望できる展望台が設置されました。

平成18年
(2006年)

5月

羊山公園「芝桜の丘」の来園者が年間百万人を突破

9月

「ちちぶ芸術祭」始まる

12月

ちちぶバイオマス元気村発電所完成

12月

西武鉄道株式会社から「ミュージズパークスポーツの森」が無償譲渡

10月

そば処「ちちぶ花見の里」オープン

平成19年
(2007年)

11月

吉田中学校新校舎完成

11月

甲武信源流サミット宣言



秩父市 飛躍の20周年を祝して



秩父市誕生20周年、誠におめでとうございます。合併新市の船出を担った初代市長として、この節目を市民の皆様と迎えられることを、心より光栄に思います。

平成17年4月1日の新市誕生は、決して平坦な道のりではありませんでした。1市1町2村の垣根を越え、歴史や文化などの違いを乗り越えて「一つになる」という大事業は、市民の皆様の深いご理解と関係者の方々の多大なるご尽力があってこそ実現したものです。

「まち輝き むら際立ち 森と水のちからほとばしる 助けあい 温もりのまち ちちぶ」という新市の将来像は、今も秩父市民の道しるべです。

この20年間で、秩父市は観光、産業、福祉、教育など、さまざまな分野で着実に歩みを進めてきました。現在の秩父市の発展は、その一つ一つの努力の積み重ねの結果です。

秩父市の光輝く未来に向けて、新たな挑戦とさらなる飛躍、そして、市民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

秩父市初代市長

秩父市名誉市民 栗原 稔



平成21年
(2009年)

3月

荒川東小学校新校舎完成

3月

ちちぶ定住自立圏中心市宣言

4月

「和銅奉獻1300年記念祝賀まつり」開催

平成20年
(2008年)

3月

「子育て支援・元氣長寿のまち」宣言

1月

秩父第一中学校新校舎完成



平成21年
(2009年)

5月

第2代秩父市長に久喜邦康氏が就任

平成22年
(2010年)

10月

秩父滝沢サイクルパークBMXコースの完成

平成22年
(2010年)

3月

高篠小学校新校舎完成

平成23年
(2011年)

11月

影森公民館完成

平成23年
(2011年)

3月

滝沢ダム完成

4月

アニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」放送

秩父が舞台設定のモデルであることから、全国からファンが聖地巡礼（舞台探訪）に訪れ、アニメの聖地として広く知られるようになりました。

9月

ちちぶ医療協議会設立

9月

ジオパーク秩父が日本ジオパークに認定

12月

秩父銘仙が国の伝統的工芸品に指定

平成25年
(2013年)

3月

尾田蒔小学校新校舎完成

平成26年
(2014年)

2月

秩父での観測史上最深98センチメートルの積雪を記録
(秩父特別地域気象観測所・上町)

3月

大滝小学校閉校

平成27年
(2015年)

1月

秩父市イメージキャラクター「ポテくまくん」誕生

3月

大滝中学校閉校

11月

セーフコミュニティ国際認証取得

花の木小学校、南小学校、秩父第二中学校が認証を取得。



秩父市イメージキャラクター
ポテくまくん



中学校区単位でのISS（インターナショナルセーフスクール）の認証
は全国初でした。

12月

「秩父祭の屋台行事と神楽」ユネスコ無形文化遺産に登録

3月

秩父宮記念市民会館・秩父市役所本庁舎開館

3月

「秩父吉田の龍勢」が国の重要無形民俗文化財に指定

3月

大滝総合支所移転

4月

秩父新電力株式会社設立

8月

秩父おもてなしTV運営開始

5月

第3代秩父市長に北堀篤氏が就任

7月

「ユナイテッド・シネマユニクス秩父」誘致

10月

豊島区との姉妹都市締結40周年記念式典開催

4月

大滝国民健康保険診療所移転

5月

秩父市イメージキャラクター「ぷめるちゃん」誕生

6月

理化学研究所発NPO組織との連携事業
（先端技術推進プロジェクト）発足

3月

世界初、秩父市と浜松市でドローン航路開通

5月

第4代秩父市長に清野和彦氏が就任

5月

第75回全国植樹祭 秩父ミューズパークを主会場に開催



秩父市イメージキャラクター
ぷめるちゃん



市町村合併に伴う財政優遇措置

財政優遇措置

この合併により得られた国からの支援を活用して、さまざまなまちづくりを進めてきました。

◎合併特例債

合併特例債とは

- ・新市建設計画（新市まちづくり計画）に基づく事業が対象
- ・合併年度及びこれに続く15年度起債可能（平成17年度事業から令和2年度事業が対象）
- ・充当率 事業費の95%
- ・元利償還金に対する地方交付税措置 70%を基準財政需要額に算入

秩父市実績

起債総額 24,097,300千円（後年度交付税算入額 16,868,110千円）

主な事業

市役所本庁舎等建設	起債額	3,248,800千円
北部共同調理場建設	起債額	346,800千円
小・中学校空調整備	起債額	251,100千円
秩父第一中学校改築	起債額	2,224,100千円
尾田蒔小学校校舎改築	起債額	928,500千円
高篠小学校改築	起債額	770,200千円
吉田中学校改築	起債額	776,700千円
荒川東小学校校舎改築	起債額	522,800千円
難視聴対策施設整備	起債額	87,800千円
市内道路整備	起債額	7,429,300千円
地域振興基金積立	起債額	2,437,000千円

※基金運用益及び元金を地域振興のための事業へ充当



◎地方交付税合併算定替え

地方交付税合併算定替えとは

- ・新秩父市として算出した額（一本算定）と合併前の旧市町村ごとに算出した合計額（算定替え）を比較し、多い額を交付
- ・合併年度及びこれに続く10年度適用、その後、激変緩和措置5年度間適用（平成17年度から令和2年度）

秩父市実績

一本算定 81,810,667千円 算定替え 99,162,788千円

地方交付税増額分 17,352,121千円

この他、特別職の削減や議員定数の削減などが合併による財政効果としてあげられます。



データでみる新たな秩父市

埼玉県における面積

- 1位 秩父市 (577.83km²)
- 2位 さいたま市 (217.43km²)
- 3位 飯能市 (193.05km²)

新たな秩父市は、面積577.83km²で、埼玉県の約15%を占めています。市域の約87%は森林となっており、これは埼玉県全体の森林の約40%にあたります。

隣接する市町村数

- 1位 秩父市 15市町村
- 同 長野県長野市 15市町村
- 同 長野市飯田市 15市町村
- 4位 長野県松本市 14市町村
- 同 愛知県豊田市 14市町村
- 同 滋賀県甲賀市 14市町村

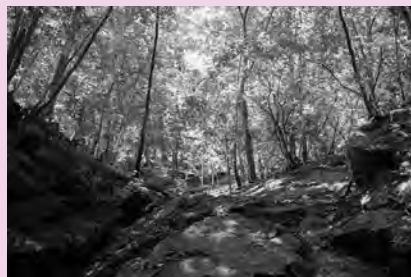
市域は、飯能市・ときがわ町・横瀬町・皆野町・小鹿野町・東秩父村・神川町、東京都奥多摩町、群馬県藤岡市・上野村・神流町、山梨県山梨市・甲州市、丹波山村、長野県川上村と境を接しています。

※隣接する都道府県は、東京都・群馬県・山梨県・長野県の4都県となり、これは岐阜県高山市および京都府南丹市と並び**最多**です。

関東地方の市における林野率

(2020年農林業センサスより集計)

- 1位 秩父市 (86.3%)
- 2位 栃木県日光市 (82.9%)
- 3位 群馬県みどり市 (79.1%)



※林野率とは、総面積に占める森林面積および森林以外の草生地割合です。

秩父4ダム

市内には、荒川水系の4つのダムがあり、荒川流域の洪水防止・生活用水や農業用水の確保・発電等に役立っています。また、市内の広大な森林が持つ保水機能（いわゆる「緑のダム」）とともに荒川流域の洪水防止に大きく貢献しています。

なお、市町村内にあるダムの数は県内で**最多**です。



二瀬ダム
(大滝地区)



浦山ダム
(荒川地区)



滝沢ダム
(大滝地区)



かつかく
合角ダム
(吉田地区)

市内にある日本百名山（深田久弥氏選定）

- ・甲武信ヶ岳（秩父市、山梨県山梨市、長野県川上村） 標高：2,475m
- ・雲取山（秩父市、東京都奥多摩町、山梨県丹波山村） 標高：2,017m
- ・両神山（秩父市、小鹿野町） 標高：1,723m

日本百名山（深田久弥氏選定）が3座ある市町村は、全国的に見てもまれです。

